



平成 17 年 11 月 2 日

会社名 株式会社ヤマダ電機
代表者名 取締役社長 山田 昇
(コード番号 9831 東証第一部)
問合せ先 取締役専務執行役員
経営企画室長 茂木 守
(TEL. 027 - 233 - 5842)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 5 月 17 日の決算発表時に公表いたしました平成 18 年 3 月期(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)

(単位:百万円・%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 17 年 5 月 17 日発表)	577,772	18,759	11,533
今回修正予想(B)	593,476	25,077	14,785
増減額(B - A)	15,704	6,318	3,252
増減率	2.7	33.7	28.2
前期実績(平成 16 年 9 月期)	509,701	17,847	10,107

2. 平成 18 年 3 月期中間個別業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)

(単位:百万円・%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 17 年 5 月 17 日発表)	567,259	16,899	10,299
今回修正予想(B)	581,290	21,792	12,106
増減額(B - A)	14,031	4,893	1,807
増減率	2.5	29.0	17.6
前期実績(平成 16 年 9 月期)	493,321	13,331	6,208

1. 修正のおもな理由

売上高は、昨年のオリンピック効果、猛暑効果のハードルが非常に高く、反動減が一部懸念されましたが、引続き大型薄型テレビ、洗濯機等が好調に推移しました。営業面では、好評をいただいている「ポイントシステム」の利便性・魅力を増すためにポイントマシンを導入し、効果的な販促を行い、顧客の固定化に努めました。利益面では、各種経費の削減に努めた結果、販売管理費が当初見込みを大幅に下回り、当初計画を大幅に上回る見込みであります。

なお、通期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の業績予想につきましては、平成17年11月8日に予定しております中間決算発表時に公表する予定であります。

(注) 今回の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上